

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江袖師町3-6 電話24-2456

総選挙、松江市議選必勝 党と後援会決起集会 強く大きな党をつくろう

コロナ危機打開へ 国民・市民の声で政治変えよう

7月22日、東部地区決起集会が開かれました。
尾村県議が志位和夫委員長の党創立98周年記念講演を紹介、後藤県委員長がコロナ危



東部地区決起集会

機の中での党躍進の意義を訴えました。

地方選挙の予定候補について、10月の安来市議補選に、河津きよし氏（元安来市議）、11月の雲南市議選に、二期目をめざす上代かずみ氏が紹介され、あいさつをしました。

来年に行われる松江市議選では、橘祥朗、吉儀敬子両市議の勇退と、新人2名を含めて3名の予定候補が発表され、それぞれが決意表明やあいさつをしました。

二期目に挑む、田中はじめ氏は、「原発のない、安心・安全の故郷を子どもたちに残したいと訴えて議会で頑張っ

ている。暮らしを守り、原発反対の3議席を死守したい」

新人で元小学校教師の舟木けんじ氏は、「家計を心配し、給食をいらぬという子どもがいた。子どもが安心して学校に通え、差別なく勉強できる社会を作りたい」

「戦争のない平和な社会をめざし、当たり前の願いをまっすぐ政治に届けたい。一人一人の個性が尊重される、ジェンダー平等の社会をめざしたい」と決意表明しました。

岩田剛地区委員長が、党勢拡大運動を成功させようと訴えて集会を終わりました。

安来補選・雲南市議選予定候補



河津きよし

安来市議補選（10月）
候補者（予定）

河津きよし（68才）
（元安来市議）



上代かずみ

雲南市議選（11月）
候補者（予定）

上代かずみ（62才）現

コロナ第2波への備えと一体の経済・ 社会活動の再開を市議団が申し入れ

市議団は7月10日、「新型コロナウイルス感染症拡大の第2波への備えと、経済・社会活動の再開を一体にすすめるための申し入れ」を市長、市教育長に提出しました。

個人事業主、農林水産業者への支援策周知と支援など、6項目を申し入れました。対応した講武直樹総務部長は、申し入れの内容を各部署に伝え、次期補正予算で検討したいと述べました。

今の時期に、 第2波への備えを

市長には、医療・介護・福祉施設での検査体制の拡充、減収調査と支援、中小業者、



清水教育長へ申し入れる市議団

来春の高校入試「習っていない内容は出さない」メッセージを受験生に

清水伸夫教育長に対しては、少人数学級編成見直し中止の県への申し入れ、来春の高校入試に「習っていない内容は出さない」と発表して受験生の不安を取り除くこと、感染判明者への差別的言動をなくす教育への支援を申し入れました。清水教育長は、どの内容も同じ思いであり、国・県に申し入れ、市も努力したいと述べました

松江市議選候補（予定）発表



田中はじめ

田中はじめ（61）現

信州大学理学部卒。1982年から32年間中学校教員を勤める。2017年、松江市議初当選（1期目）。現在、党県委員、党東部地区常任委員。



舟木けんじ

舟木けんじ（60）新

島根大学教育学部卒。1983年から13年間小学校教員を勤める。県教職員組合執行委員長、しまね労連議長などを経て、2020年7月から党県委員会勤務。現在、党県常任委員。



たちばなふみ

たちばなふみ（44）新

島根大学法文学部卒。元日本民主青年同盟副委員長。2児の母。安保関連法に反対するママの会@しまねなどで活動。現在、法律事務所勤務、新日本婦人の会県本部委員。